



〈話し合われた主な内容〉

○5校時目の授業参観の感想より

- タブレットを使ったプログラミング学習に教育の発展を感じた。入力の仕方でも低学年からの指導がつながり、基礎がしっかり身につけていると感じた。
- 4年生の版画作品がよかった。手彫りの味にICTとは違う良さを感じた。同じように書写作品からも子どもの取組の様子が伝わってきた。
- 音楽のイメージを描いた作品がすばらしかった。目には見えないものを想像力を働かせて描くことに教育の力を感じる。
- 子どもたちがいつ来てもものびのびしている。こうした学校の雰囲気は保護者の安心に繋がるだろう。
- 1年生が入学したときに比べ、大きく成長していると感じる。1年間の学びの成果が表れている。
- 毎回、学校に来るたびに掲示板を見るのが楽しみである。消しゴムで描いた作品がおもしろかった。昔とは違ういろいろな取組をしていることがわかる。

○学校評価と経営方針についての熟議

- あいさつへの意識をさらに高め、児童に身につけさせたい。
- 危機管理体制をさらに高めていく。
- 対話を重視することについて、自分の考えをもち、交流して比べ、深める学びが求められている。研修や研究を全校で取り組んでいる。
- 体力向上について、パワーアップタイムなどさまざま取り組んでいるが、数値としては市内の中で低いほうである。次年度、体育エキスパート教員の配置を希望している。記録を掲示するなど、子どもたちが実感できるような取組となることを期待している。
- 小中一貫教育について、今年度から本格実施となった。学校間が離れているが、工夫した連携を進めている。
- 次年度、研究発表会の予定である。成果が伝わるようしっかり取り組んでいく。
- 子どもたち同士のつながりを深めたい。縦割り班での異学年交流を充実させる。高学年にとっては活躍する場が広がることで自己肯定感を高め、低学年にとっては高学年の姿を見て育つ環境を整えることで教育の質を高めていく。